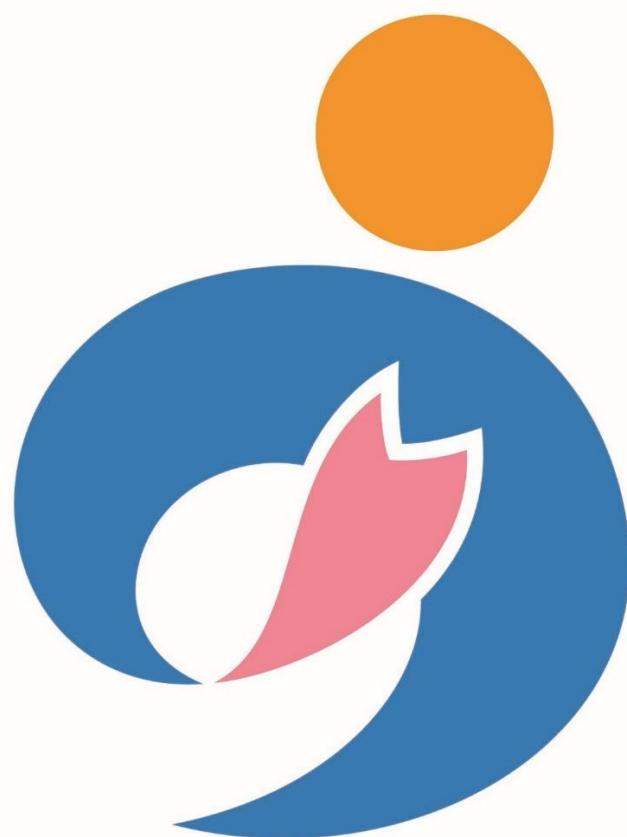


令和7年12月補正 予算事業説明書



子育て支援課



款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	13	諸費	会計名	一般会計					
事業名	2-7	償還金(子育て支援課)			所属名	子育て支援課									
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		国庫及び県補助金												
	意図 (対象をどうするか)		過年度の国庫及び県支出金等の実績報告により適切に返金する。												
	成果の視点 (どのような効果があるか)		国及び県の補助金、負担金の返還が適切に行える。												
予算状況		補正前の額	補正額	計											
		0 千円	2,575 千円	2,575 千円											

【提案理由】

令和6年度補助金実績により、補助金の返金が生じるため、所要額を補正する。

【事業内容】

令和6年度の国庫及び県費の返金を行う。

【状況】

補助金等の名称	(交付額)	(確定額)	償還金額
① 令和6年度子ども・子育て支援交付金	21,735,000円	21,449,000円	286,000円
② 令和6年度鳥取県子ども・子育て支援交付金	14,139,000円	13,959,000円	180,000円
③ 令和6年度未熟児養育医療費等国庫負担金	136,200円	66,336円	69,864円
④ 令和6年度子どものための教育・保育給付交付金	41,592,739円	41,269,442円	323,297円
⑤ 令和6年度子育てのための施設等利用給付交付金	1,429,800円	1,368,550円	61,250円
⑥ 令和6年度鳥取県子育てのための施設等利用給付県負担金	714,900円	684,275円	30,625円
⑦ 令和6年度子ども・子育て支援体制整備総合推進事業費国庫補助金	298,000円	203,000円	95,000円
⑧ 令和6年度児童手当交付金	109,832,551円	109,787,217円	45,334円
⑨ 令和6年度児童扶養手当給付費国庫負担金	11,481,290円	11,466,123円	15,167円
⑩ 令和6年度児童入所措置費等国庫負担金	623,731円	0円	623,731円
⑪ 令和6年度助産施設・母子生活支援施設入所措置費負担金	311,865円	0円	311,865円
⑫ 令和6年度子ども・子育て支援事業費補助金	3,128,000円	2,596,000円	532,000円
(合計)	205,423,076円	202,848,943円	2,574,133円

【対応策】

実績報告の結果、国・県の請求に基づき返金を行う。

(歳入内訳 単位:千円)

款-項-目-節	科 目 名 称	補正前の額	補正額	節	補正前の額	補正額
				22 償還金、利子及び割引料	0	2,575
	一般財源	0	2,575			
	計	0	2,575	計	0	2,575

有効性	成果の視点からみたこれまでの成果内容、または成果が見込まれる点(前年度までの実績、補正前までの状況をもとに記載)	【※新規要求又は補正予算を行うことによる成果見込を記入すること】 事業の進捗管理を行い、国の補助金等の事務の適正な執行に努める。
-----	--	---

款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	1	児童福祉費総務費	会計名	一般会計		
事業名	1	児童福祉事務費							所属名	子育て支援課		
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		町外の保育所等に入所している保護者									
	意図 (対象をどうするか)		・住民が円滑に望む保育サービスを受けることができる ・幼児教育・保育の無償化に伴い、保護者の負担軽減を行うことにより、幼児教育の推進を図る									
	成果の視点 (どのような効果があるか)		・待機児童を解消し、保育サービスの充実を図ることができる。 ・町外の保育施設に通園している世帯に対しても、幼児教育・保育無償化により支援を受けることができる。また副食費の支援をすることで、保護者の負担軽減につながる。									
予算状況			補正前の額	補正額	計	総合計画における位置づけ ⑦子どもが健やかに育つ環境づくり 「4つの挑戦」から見た位置づけ ②教育に挑戦(子育て・教育のまち) 根拠法令・要綱等 児童福祉法 南部町保育所条例 南部町子育て支援施設副食費交付要綱						
			20,196 千円	7,509 千円	27,705 千円							

【提案理由】

- ・町外の認可保育施設に入所している児童が、当初予算で見込んでいた人数より増え、広域入所に係る保育委託料が増え、予算不足となるため。
- ・町外の認可外保育施設に通園している児童が、当初予算で見込んでいた人数より増え、対象施設の無償化にかかる費用が増え、予算不足となるため。

【事業内容】

- ・町外の認可保育施設に入所している児童の広域入所契約や保育委託料の支払いを行う。
- ・町外の認可外保育施設や私学助成の幼稚園に通園している児童の保護者から無償化の申請を受け、対象施設の無償化にかかる費用を施設等利用費として支払う。(3歳児以上)
- ・町外の園に就園している一定所得以上の3歳以上児は副食費の支払いが必要となるため、副食費を助成する。
- ・幼児教育・保育無償化の事務に必要な郵送料を支払う。

【状況】

・令和7年度 町外の認可保育施設に入所している児童数(6名増)

	施設種別	当初予算見込児童数(合計17名)	9月末日見込児童数(合計23名)
令和6年度からの継続入所者	私立保育所	1歳児2名	1歳児2名
	私立認定こども園	4歳児3名、3歳児2名	5歳児1名、4歳児3名、3歳児2名
	私立幼稚園	5歳児1名、4歳児3名、3歳児2名	5歳児2名、4歳児3名、3歳児3名
令和7年度新規入所者	私立又は公立保育所	0歳児1名	5歳児1名、1歳児1名、0歳児1名
	私立認定こども園	3歳児1名	5歳児1名、3歳児1名、2歳児2名
	私立幼稚園	2歳児2名	

・令和7年度 町外の認可外保育施設に入所している児童数(2名増)

	当初予算見込児童数(合計4名)	9月末日見込児童数(合計6名)
内訳	5歳児2名、4歳児2名	5歳児3名、4歳児2名、3歳児1名

(森の学校が2名増)

(歳入内訳 単位:千円)

(歳出内訳 単位:千円)

款-項-目-節	科 目 名 称	補正前の額	補正額	節	補正前の額	補正額
14-1-1-4	子育てのための施設等利用給付交付金	1,091	444	11 役務費	14	0
14-1-1-4	子どものための教育・保育給付費負担金	7,218	2,706	12 委託料	17,135	6,621
15-1-1-4	鳥取県子育てのための施設等利用給付県負担金	545	222	18 負担金補助及び交付金	3,047	888
15-1-1-4	子どものための教育・保育給付費県負担金	3,609	901			
15-2-2-5	子どものための教育・保育給付費県補助金	1,349	1,055			
	一般財源	6,384	2,181			
	計	20,196	7,509	計	20,196	7,509

有効性	成果の視点からみたこれまでの成果内容、または成果が見込まれる点(前年度までの実績、補正前までの状況をもとに記載)	【※新規要求又は補正予算を行うことによる成果見込を記入すること】
		・町外の保育施設への入所ニーズへの対応や、転入時に継続して町外の園の利用ができるようにするために必要 ・町外の保育施設に通園している世帯に対しても、幼児教育・保育無償化により支援を受けることができるようにするため必要

事業名	1	児童福祉事務費	所属名	子育て支援課		
【対応策】						
・町外の認可保育施設に入所している児童の増により必要となった広域入所に係る保育委託料を増額補正する。						
委託料	0歳児	1・2歳児	3歳児	4・5歳児 合計額 (単位:円)		
予算額	2,257,480	3,521,120	7,005,400	4,350,280 17,134,280		
必要見込額	386,000	4,127,444	10,172,059	9,068,874 23,754,377		
…① 委託料補正額(②-①) …② =6,620,097円増額						
・町外の認可外保育施設に通園している児童の増により必要となった保育料無償化に必要な費用(負担金)を増額補正する。 単位:円						
負担金	金額	内訳				
予算額	1,776,000	37,000円×4名×12ヶ月	…③ 負担金補正額(④-③) …④ =888,000円増額			
必要見込額	2,664,000	37,000円×6名×12ヶ月				
<広域入所にかかる負担金・補助金の内訳>						
○補助対象経費 単位:円						
区分		金額				
3歳以上児	1号認定(教育認定)	18,495,968	…① ①の金額の内 ・国・県の負担金の対象となる金額 ①×740/1000=13,687,016円…④			
	2号認定(保育認定)	744,965	…②			
3歳未満児	3号認定(保育認定)	4,513,444	…③			
合計		23,754,377	・県の補助金の対象となる金額 ①×260/1000=4,808,952円…⑤			
○歳入予算額						
・国負担金 14-1-1-4 子どものための教育・保育給付費負担金(負担割合:3歳以上児1/2、3歳未満児60/100) (④+②)×1/2+③×60/100=9,924,056円						
・県負担金 15-1-1-4 子どものための教育・保育給付費県負担金(負担割合:3歳以上児1/4、3歳未満児20/100) (④+②)×1/4+③×20/100=4,510,684円						
・県補助金 15-2-2-5 子どものための教育・保育給付費県補助金(負担割合:3歳以上児1/2) ⑤×1/2=2,404,476円						
【歳入補正額】						
・国負担金 14-1-1-4 子どものための教育・保育給付費負担金 必要額9,924,056円-当初予算7,218,000円=2,706,056円						
・県負担金 15-1-1-4 子どものための教育・保育給付費県負担金 必要額4,510,684円-当初予算3,609,000円=901,684円						
・県補助金 15-2-2-5 子どものための教育・保育給付費県補助金 必要額2,404,476円-当初予算1,349,000円=1,055,476円						
※1号認定は国の負担金対象が740/1000であるため、残りの260/1000に対し県が1/2の補助する						
<町外の認可外保育施設の保育料無償化にかかる負担金の内訳>						
【歳入補正額】						
・国負担金 14-1-1-4 子育てのための施設等利用給付交付金(負担割合:1/2) (必要額2,664,000円-当初予算1,776,000円)×1/2=444,000円						
・県負担金 15-1-1-4 鳥取県子育てのための施設等利用給付県負担金(負担割合:1/4) (必要額2,664,000円-当初予算1,776,000円)×1/4=222,000円						

款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	5	保育園費	会計名	一般会計		
事業名	1-1	すみれこども園運営事業							所属名	子育て支援課		
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		入所児童及び地域の乳幼児と保護者									
	意図 (対象をどうするか)		・入所児童の健全な心身の発達を促す ・保護者の養育力の向上に資する									
	成果の視点 (どのような効果があるか)		・児童の最善の利益を考慮し、発達段階に応じた心身の成長 発達が図られている ・保護者と子どもの成長の喜びを共有しながら、子育て相談、養 育力向上の助言・支援が行われている									
予算状況			補正前の額		補正額		計					
			22,319 千円		739 千円		23,058 千円					

【提案理由】

令和8年4月から3歳以上児の主食(ご飯)の提供を始めるために、茶碗や調理器具等の消耗品及び備品の購入が必要であり、あわせて、炊飯器用のコンセント増設が必要なため。

【事業内容】

- ・保育は、保育計画に基づき実施し、子どもたちの健やかな成長と安心できる園での保育を提供する。
- ・障がいやアレルギー、発達の気になる児童などの健全育成を図る。
- ・地域の方や保護者とのつながりを持ち、様々な行事等の協力を要請し交流を図る。
- ・保護者に向け安心できる情報公開をする。

【状況】

○3歳以上児の人数及び主食(ご飯)について

- ・令和7年10月1日現在 3歳以上児在籍者数60名(内訳:3歳児22名、4歳児23名、5歳児15名)
- ・3歳以上児の主食(ご飯)については、各家庭で炊いたご飯を弁当箱に入れて持参をしてもらっている。

○新たに購入が必要な消耗品、備品及び施設修繕について

- ・主食(ご飯)提供に必要な茶碗、配膳用の盆、食器提供用のかごがないため、購入する必要がある。(消耗品費)
- ・主食(ご飯)提供をするに当たって調理の動線上に炊飯器のコンセントがないため、コンセントの増設が必要となる。(施設修繕料)
- ・ご飯を炊く量が増えるため、3升炊きの炊飯器1台、各クラスに保温おひつ1個ずつ、及び配膳に必要なワゴン2台が必要となる。(備品購入費)

【対応策】

主食(ご飯)の提供に必要な費用を増額補正する。

単位:円

科目	金額	内訳
需用費	消耗品費	210,910 茶碗…1,560円×100個×1.1=171,600円 配膳用の盆…5,600円×6枚×1.1=36,960円 食器提供用のかご…712円×3個×1.1=2,350円
	施設修繕料	68,200 防水コンセント増設2か所
備品購入費	458,370 業務用IHジャー炊飯器(3升用)…165,000円×1台×1.1=181,500円 アルマイト保温おひつ…41,000円×3個×1.1=135,300円 スタッキングカートワゴン…64,350円×2台×1.1=141,570円	
合計	737,480	

(歳入内訳 単位:千円)

(歳出内訳 単位:千円)

款-項-目-節	科 目 名 称	補正前の額	補正額	節	補正前の額	補正額
12-2-2-2	現年度分保育料	3,833	0	1 報酬	124	0
12-2-2-2	現年度分延長保育料	34	0	8 旅費	35	0
15-2-2-5	第3子以降保育料無償化制度事業費補助金	967	0	10 需用費	18,070	280
20-4-1-1	幼児保育業務委託事業収入	167	0	11 役務費	920	0
20-5-5-1	すみれこども園職員給食費	2,337	0	12 委託料	1,973	0
20-5-5-1	すみれこども園教育認定児童給食料	19	0	13 使用料及び賃借料	1,041	0
20-5-5-1	日本スポーツ振興センター掛金受入金	25	0	15 原材料費	13	0
21-1-2-2	すみれこども園施設整備事業債(こども・子育て支援事業債)	600	0	17 備品購入費	26	459
18-2-4-1	さくら基金繰入金	0	739	18 負担金補助及び交付金	117	0
	一般財源	14,337	0			
	計	22,319	739	計	22,319	739

有効性	成果の視点からみたこれまでの成果内容、または成果が見込まれる点(前年度までの実績、補正前までの状況をもとに記載)	【※新規要求又は補正予算を行うことによる成果見込を記入すること】 保護者と連携を取りながら、地域の乳幼児の健全育成のための拠点として、保護者支援や子育て支援に今後も務める必要がある。また、保育内容の充実と子どもたちの健やかな成長を促す園活動を目指していく。
-----	--	---

款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	5	保育園費	会計名	一般会計		
事業名	2-1	ひまわり保育園運営事業							所属名	子育て支援課		
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		入所児童及び地域の乳幼児と保護者									
	意図 (対象をどうするか)		・入所児童の健全な心身の発達を促す ・保護者の養育力の向上に資する									
	成果の視点 (どのような効果があるか)		・児童の最善の利益を考慮し、発達段階に応じた心身の成長発達が図られている ・保護者と子どもの成長の喜びを共有しながら、子育て相談、養育力向上の助言・支援が行われている									
予算状況			補正前の額		補正額		計					
			16,119 千円		478 千円		16,597 千円					

【提案理由】

令和8年4月から3歳以上児の主食(ご飯)の提供を始めるために、茶碗や調理器具等の消耗品及び備品の購入が必要なため。

【事業内容】

- ・保育は保育課程や保育計画に基づき実施する。
- ・障がいやアレルギー、発達の気になる児童の健全育成を図る。
- ・地域の方や保護者とのつながりを持ち、地域に開かれた保育園を目指す。
- ・保護者に向け安心できる情報公開をする。

【状況】

○3歳以上児の人数及び主食(ご飯)について

・令和7年10月1日現在 3歳以上児在籍者数26名(内訳:3歳児12名、4歳児7名、5歳児7名)

・3歳以上児の主食(ご飯)については、各家庭で炊いたご飯を弁当箱に入れて持参をしてもらっている。

○新たに購入が必要な消耗品、備品について

- ・主食(ご飯)提供に必要な茶碗、おひつ、配膳用の盆、はかりがないため購入が必要となる。また食器の片付け用に整理ストッカーがないため、購入する必要がある。(消耗品費)
- ・ご飯を炊く量が増えるため、2升炊きの炊飯器1台及び配膳に必要なワゴン1台が必要となる。(備品購入費)

【対応策】

主食(ご飯)の提供に必要な費用を増額補正する。

単位:円

科目	金額	内訳
需用費(消耗品費)	180,620	茶碗…1,560円×30個×1.1=51,480円 配膳用の盆…6,800円×6枚×1.1=44,880円 おひつ…14,000円×3個×1.1=46,200円 デジタル防水スケール…10,000円×1個×1.1=11,000円 食器整理ストッカー…12,300円×2個×1.1=27,060円
備品購入費	297,000	ガス炊飯器(2升用)…80,000円×1台×1.1=88,000円 ステンレスワゴン…150,000円×1台×1.1=165,000円 別途送料44,000円
合計	477,620	

(歳入内訳 単位:千円)

(歳出内訳 単位:千円)

款-項-目-節	科 目 名 称	補正前の額	補正額	節	補正前の額	補正額
12-2-2-2	現年度分保育料	1,916	0	1 報酬	76	0
12-2-2-2	現年度分延長保育料	18	0	8 旅費	34	0
15-2-2-5	第3子以降保育料無償化制度事業費補助金	484	0	10 需用費	12,210	181
20-4-1-1	幼児保育業務受託事業収入	247	0	11 役務費	476	0
20-5-5-1	ひまわり保育所職員給食費	1,192	0	12 委託料	1,573	0
20-5-5-1	日本スポーツ振興センター掛金受入金	10	0	13 使用料及び賃借料	956	0
21-1-2-2	ひまわり保育園施設整備事業債(こども・子育て支援事業債)	2,900	0	15 原材料費	20	0
18-2-4-1	さくら基金繰入金	0	478	17 備品購入費	708	297
				18 負担金補助及び交付金	66	0
	一般財源	9,352	0			
	計	16,119	478	計	16,119	478

有効性	成果の視点からみたこれまでの成果内容、または成果が見込まれる点(前年度までの実績、補正前までの状況をもとに記載)	【※新規要求又は補正予算を行うことによる成果見込を記入すること】 保護者と連携を取りながら、地域の乳幼児の健全育成のための拠点として、保護者支援や子育て支援に今後も務める必要がある。また、保育内容の充実と子どもたちの健やかな成長を促す園活動を目指していく。
-----	--	---

款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	7	子育て支援費	会計名	一般会計			
事業名	9	乳児紙おむつ支援事業							所属名	子育て支援課			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		乳児及び保護者								総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		紙おむつの支出に係る費用の負担軽減を行うことにより安心して育児が行える。								⑦子どもが健やかに育つ環境づくり 「4つの挑戦」から見た位置づけ ②教育に挑戦(子育て・教育のまち) 根拠法令・要綱等		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		おむつを確実に届けることで子育ての一助となれる。また、専門職員が子育ての相談を聞くことで必要な支援に繋げができる。								南部町乳児紙おむつ支援事業実施要綱		
予算状況			補正前の額	補正額	計								
			2,400 千円	413 千円	2,813 千円								

【提案理由】

出生見込み数の増とおむつの価格が値上がりしたことにより、当初予算を上回る支出が見込まれるため。

【事業内容】

- 新生児に対して12か月分の紙おむつを進呈する。
- 毎月の使用数を紙おむつ3パックと想定し12ヶ月分の合計36パック分をチケットとして配布する。
- 保護者は、毎月チケットをすこやかに持参し、紙おむつに交換して使用する。
- すこやかで手渡しすることで伴走型支援も兼ねることができる。

伴走型支援とは…おむつの交換を手渡しで行うことで、助産師や保健師等の職員が、産後の悩みや相談に応じたり、子育て支援や子育て環境の提供を行い、子育て家庭を支援すること。

【状況】

令和7年9月末時点

- 申請者数…28名(出生者25名+0歳児転入者3名)
- おむつ購入数及び購入金額…888パック、1,597,360円
- 3パック当たりのおむつの平均購入金額…約5,400円

【対応策】

出生見込み数の増とおむつの価格が値上がりにより必要となったおむつの購入費用(扶助費)を増額補正する。

	金額	内訳
当初予算額(円)	2,400,000	月額約5,000円×12ヶ月×40人分
予算残額(円)	802,640	2,400,000円-1,597,360円
必要額(円)	1,215,000	月額約5,400円×5ヶ月×45人分
不足額(円)	412,360	

(歳入内訳 単位:千円)

款-項-目-節	科 目 名 称	補正前の額	補正額	節	補正前の額	補正額
15-2-2-5	市町村子育て応援交付金	250	0	19 扶助費	2,400	413
	一般財源	2,150	413			
	計	2,400	413	計	2,400	413

有効性	成果の視点からみたこれまでの成果内容、または成果が見込まれる点(前年度までの実績、補正前までの状況をもとに記載)	【※新規要求又は補正予算を行うことによる成果見込を記入すること】
		紙おむつの進呈が好評で、保護者の負担も軽減されるので、大変喜ばれている。増額補正をすることにより、引き続きおむつの購入ができ、すこやかで手渡しすることで、育児の相談や様子なども伺うことができる。保護者の伴走型支援につながっており、今後も継続していく。